

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞〔再使用・再生利用部門〕
受賞者	株式会社城内組 二見地区築堤護岸工事
受賞テーマ	土砂混合による建設発生土の有効利用を推進する取り組み

【取組概要】

和歌山河川国道事務所発注の二見地区築堤護岸工事において、築堤材として不適な砂礫質の建設発生土（仮置土）と現地から採取する粘性土（浚渫土）とを土砂混合システム【土壌くん】を活用し築堤材として有効利用した。

①土砂混合による建設発生土の有効利用【Reduce・Reuse】

利用する建設発生土（仮置土）の土質は、礫分に偏っており特に細粒分が不足、単独では築堤に利用できなかった。

土砂混合による粒度調整を検討し、現地粘性土（浚渫土）の補足材の調達方法、各種土質試験から配合の検討、施工方法から品質管理までを発注者へ提案、当該工事でモデル施工を行った。本工事の後発工事においても、同様の土砂混合リサイクルが導入されている。

- ・ 新材（山土）土量 当初：21,000m³⇒ 変更後：3,400m³
- ・ 建設発生土（仮置土）土量 当初：0m³⇒ 変更後：13,000m³
- ・ 現地粘性土（浚渫土）土量 当初：0m³⇒ 変更後：4,600m³

【評価ポイント】

- ・ 土砂混合による粒度調整を検討し、現地粘性土（浚渫土）の補足材の調達方法、各種土質試験から配合の検討、施工方法から品質管理までを発注者へ提案。現地土 17,600m³の現場内利用（山土利用削減）を達成
- ・ 本工事の後発工事でも、同様の土砂混合リサイクルが導入されている。



土砂混合システム近景【土壌くん】